

YAMAHA PIANO PLAYER®

ピアノプレーヤHG-1
(再生専用タイプ)

取扱説明書

このたびは、ヤマハピアノプレーヤをお買上げいただき
まことにありがとうございます。

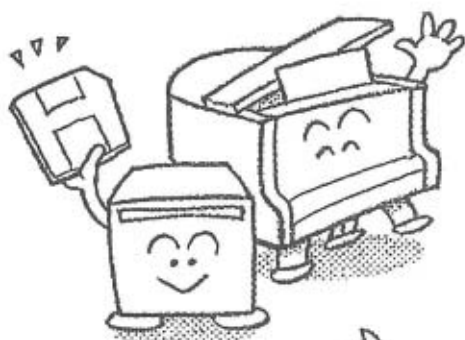
お求めのピアノプレーヤを正しくお使いいただくために
お使いになる前に、取扱説明書をよくお読みください。

お読みになったあとは、必ず保管してください。

使用上のご注意	4
ご使用になる前に	6
各部のなまえ	8
リモコンの使い方	10
表示部について	12
フロッピーディスクについて	14
再生のしかた	16
再生機能のご紹介	18
いろいろな再生機能	
早送り・早戻し 曲名表示	19
パートキャンセル	20
テンポ調整	21
移調機能	22
プログラム再生	23
リピート再生	24
ダイレクトサーチ	25
MIDI機能	
使用例	26
タイミング調整とMIDI OUT遅延バッファ	27
MIDIセットアップモード	28
MIDIパラメータ(設定項目・条件)	29
MIDIデータフォーマット	30
MIDIインプリメンテーションチャート	34
プロックダイアグラム	35
MIDIトラブル&ノウハウ集	36
記録データの互換性について	38
仕様	39
エラーメッセージについて	40
ちょっとお調べください	41
保証とサービスについて	42

使用上のご注意

ピアノプレーヤを永くよい状態でご使用いただくには、次の事柄にご留意ください。



フロッピーディスクについては14.15ページをご覧ください。

ピアノプレーヤはピアノ本体とエレクトロニクス技術を駆使した自動演奏装置との最適のマッチングの上に性能を発揮します。また、自動演奏のデータを記録しているフロッピーディスクの保管もたいせつです。

1. ピアノ本体の手入れ

通常のピアノと同じ手入れ（調律など）が必要です。くわしくはヤマハピアノ取扱説明書をご覧ください。一般のご家庭での使用では、通常、年に1～2回の定期調律をおすすめいたします。

2. 自動演奏装置

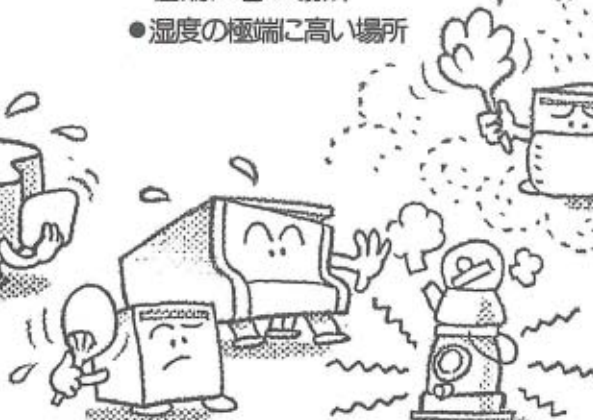
電気系の部品の内、メカニカルな機構を持った部品は、ご使用の時間に伴った消耗が考えられます。1. のピアノ同様、ご使用の頻度にあった定期的点検および調整をおすすめします。

設置設置場所について

●窓際など直射日光の当たる場所



●暖房器具のそばなど極端に暑い場所
●湿度の極端に高い場所



●ホコリの多い場所



●振動の多い場所



取り扱いはいないに

●スイッチやボタン、キャビネットなどの無理な力を加えないでください。



●キャビネットの上に物を置かないでください。



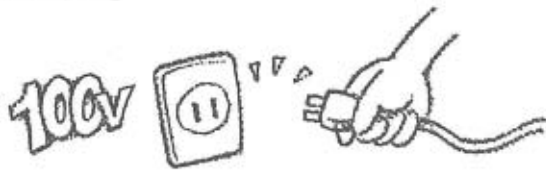
●コード類はピアノの下にはさみ込まないよう注意してください。



●コード類を抜き差しする場合は、必ず電源を切ってください。
●コード部分の断線やショートを防ぐため、コード類をはずす時は必ずプラグを持って引き抜いてください。

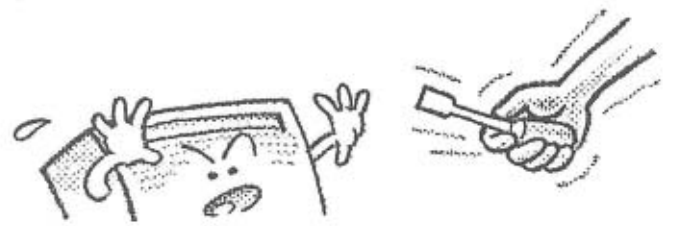


電源について



本機は日本国内仕様です。必ず、AC100V（50Hzまたは60Hz）の電源コンセントに接続してください。AC100V以外の電源は絶対にご使用にならないでください。長時間ご使用にならない時は、コントロールワゴン背面のメインスイッチを切るか電源コードをコンセントからはずしてください。

キャビネットを開けない



キャビネットを開けて内部に手などを入れますと、故障や感電事故を起こすことがあります。何か異物が入ったときには、すぐ電源プラグを抜いて販売店にご連絡ください。

落雷に対する注意



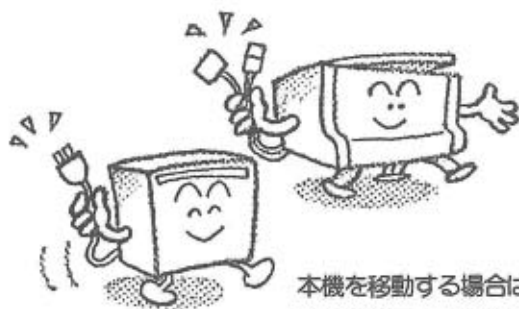
落雷のおそれのあるときは、早めにコンセントから電源プラグを抜きとってください。

水に濡れたら



万一雨がカかったり、花びんなどの水をセットにこぼしたときは、すぐに電源プラグを抜いて販売店にご連絡ください。

移動の際には



本機を移動する場合は、コード類の断線やショートを防ぐため、コード類をすべて取りはずしてください。

外装のお手入れについて



汚れなどのお手入れは柔らかい布でからぶきしてください。ベンジンやシンナーなどの揮発油で外装をふいたり、近くでエアソールスプレーを散布したりすることは避けてください。

他の電気機器への影響について



本機はデジタル回路を多用しているため、ごく近くでラジオやテレビなどを同時にご使用になりますと、ラジオやテレビ側で雑音などが生じることがあります。十分に離してご使用ください。

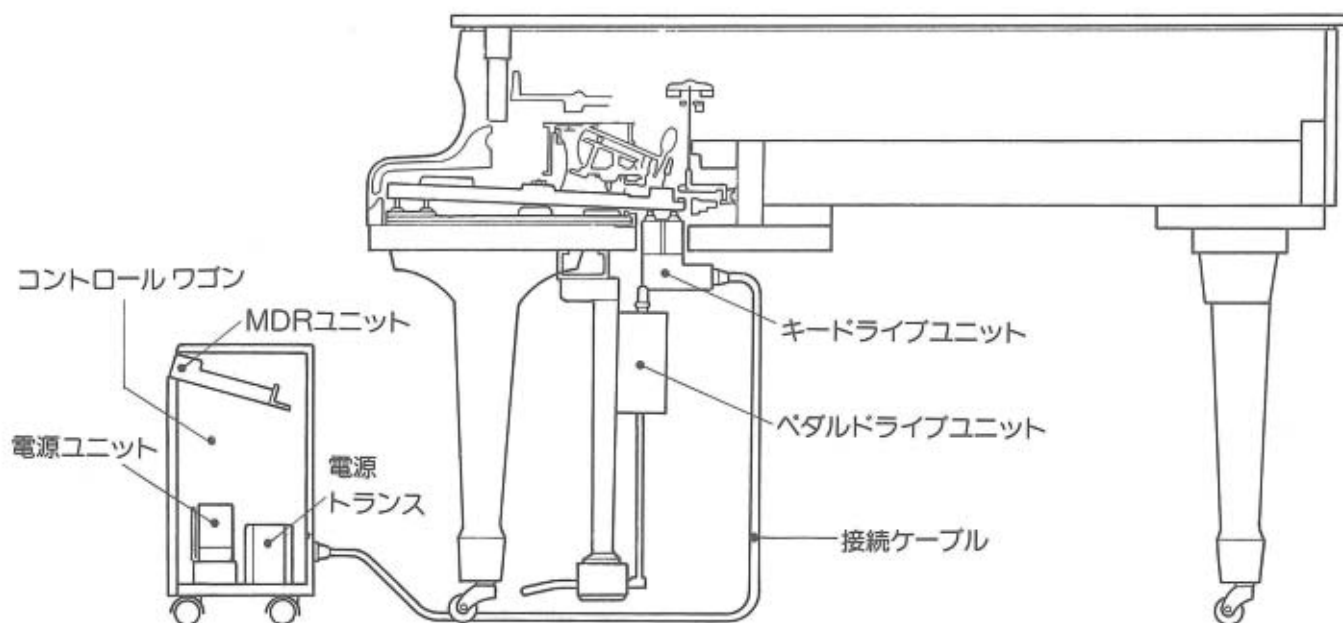
もう一度調べてください



故障かな？と思ったら、まず41ページの「ちょっとお調べください」をご覧ください。意外なところで操作を誤っていることがあります。

ご使用になる前に

しくみについて



付属品をご確認ください

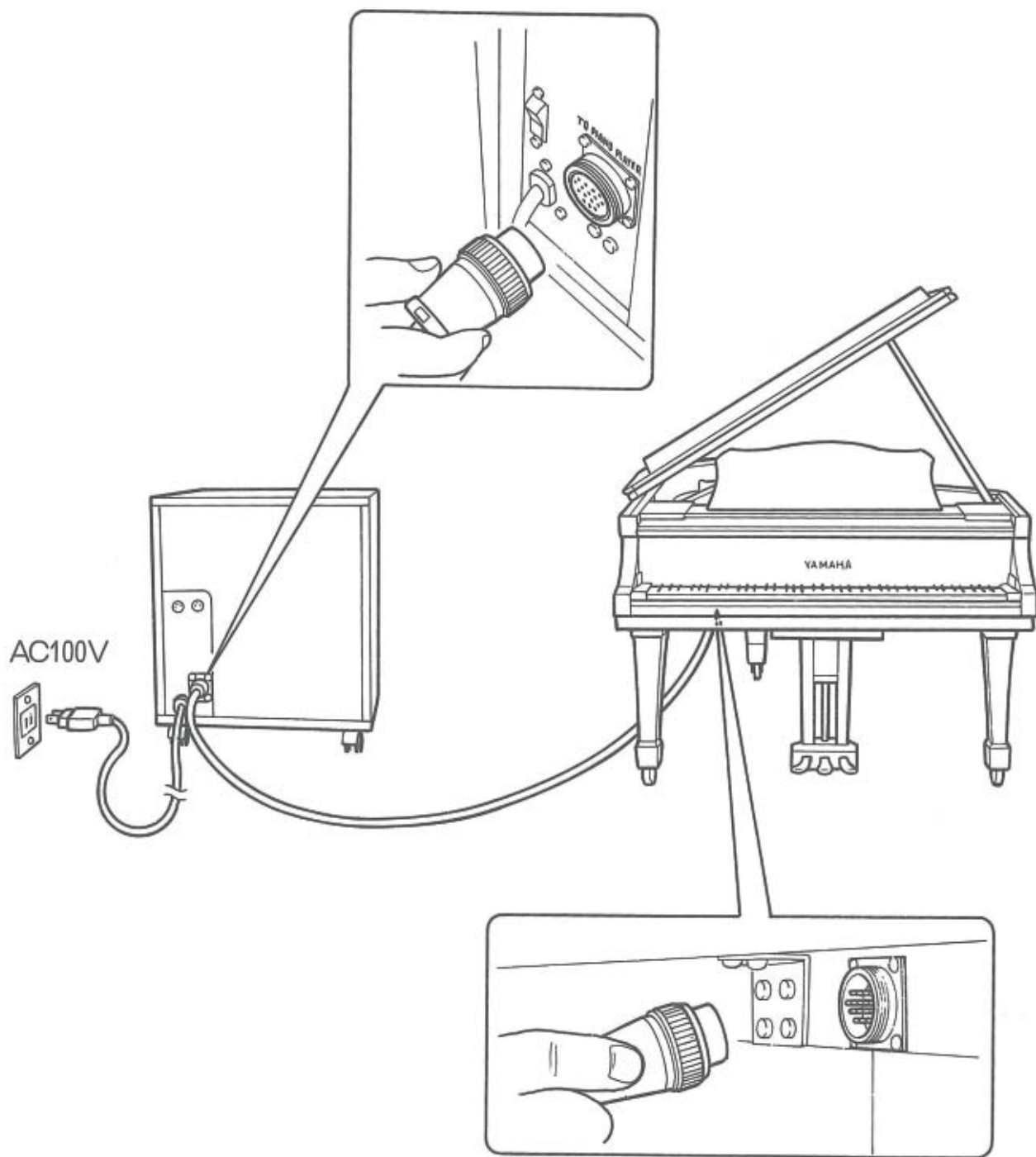
接続ケーブル	1
試聴用フロッピーディスク	1
リモコン	1
リモコン用電池	単3×2
取扱説明書（本書）	1

自動演奏コントロールデータ メモリーバックアップ用電池について

キードライブユニット内に自動演奏コントロールデータ メモリーバックアップ用電池が内蔵されています。このデータにより、ピアノごとのアクション・ペダルの状態に合った自動演奏が可能となります。

このバックアップ用電池が消耗（通常のご使用では数年単位）した場合は、交換が必要です。アフターサービスの際に、有償にて交換を承ります。


接続のしかた

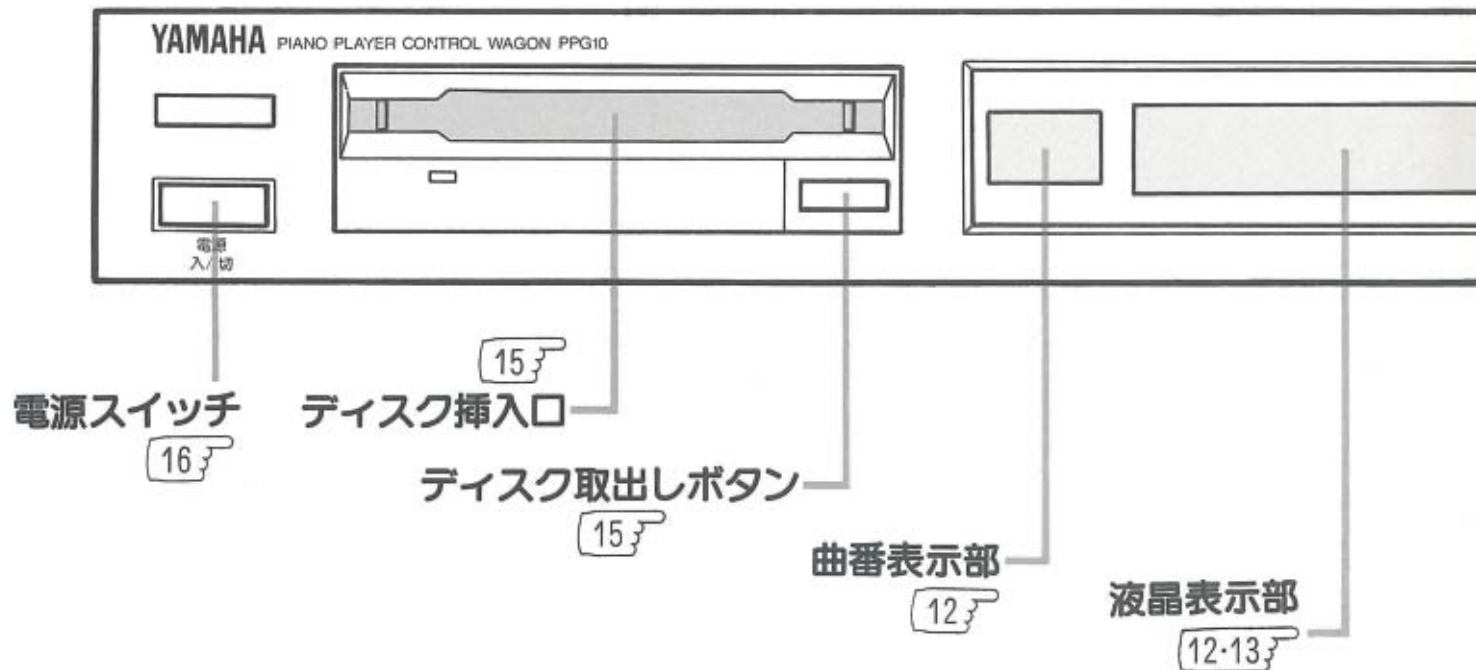


コネクターの接続はコネクターの向きを合わせて差し込み、固定リングをまわしてしっかり固定してください。

各部のなまえ

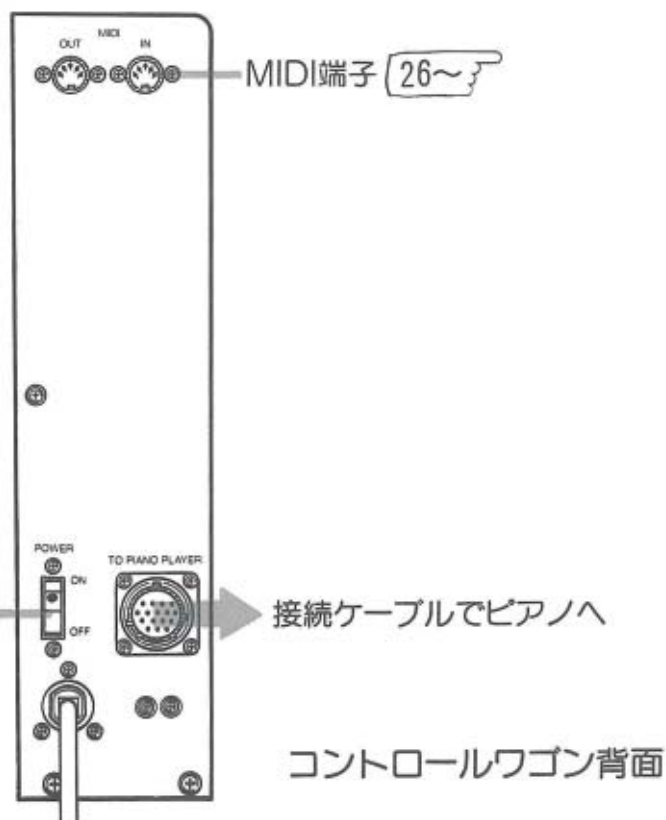
コントロールパネル

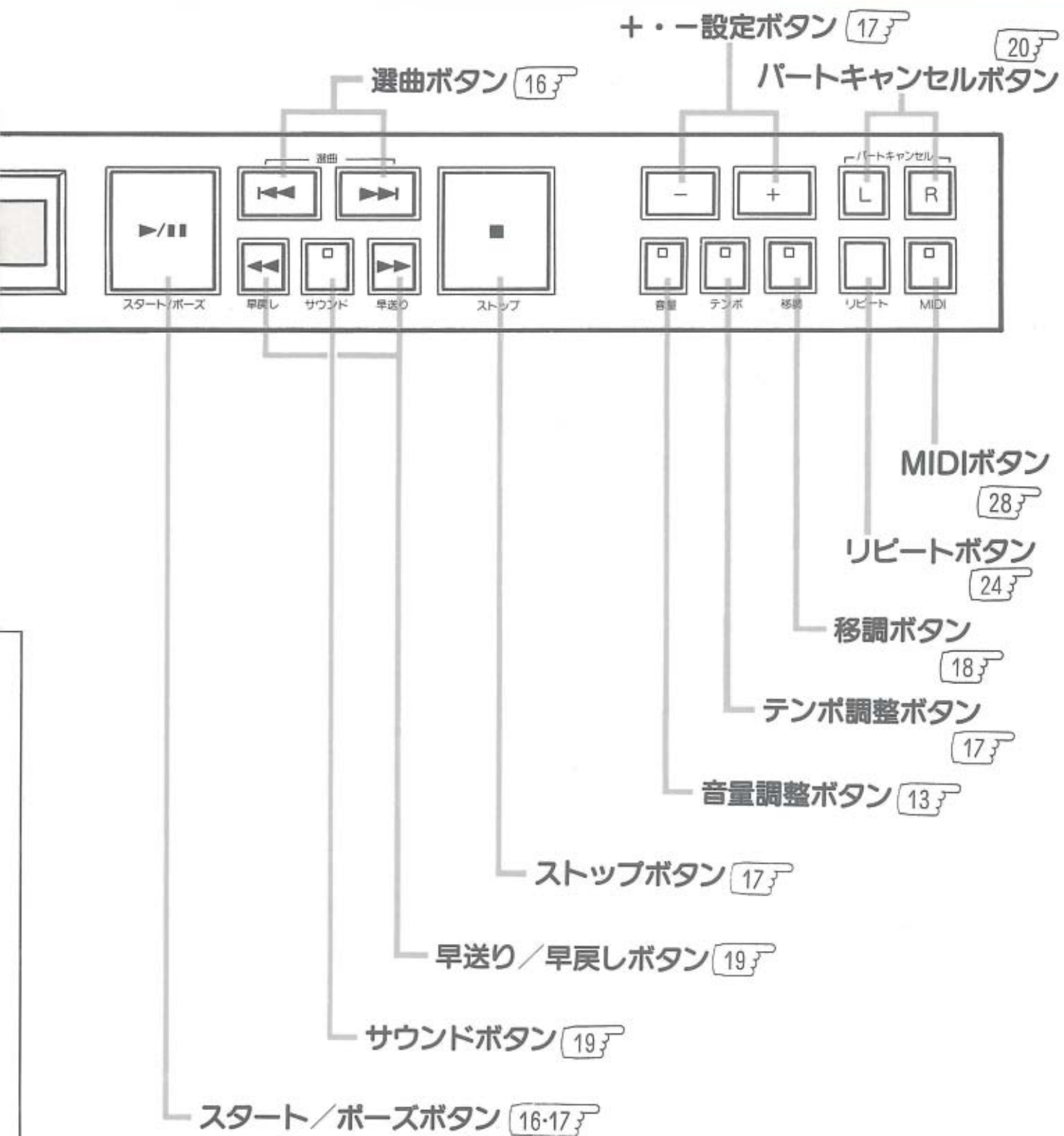
 内のページに主な説明があります。



コントロールワゴンリアパネル

ケーブル接続後、メインスイッチをONにしてください。
長期間ご使用にならないときはOFFにしてください。





リモコンの使い方

各部のなまえ

プログラムボタン 23

10キーとの組合せで曲順をあらかじめ
セットできます。

キャンセルボタン 23

プログラムの取り消し

10キー 16・23・25

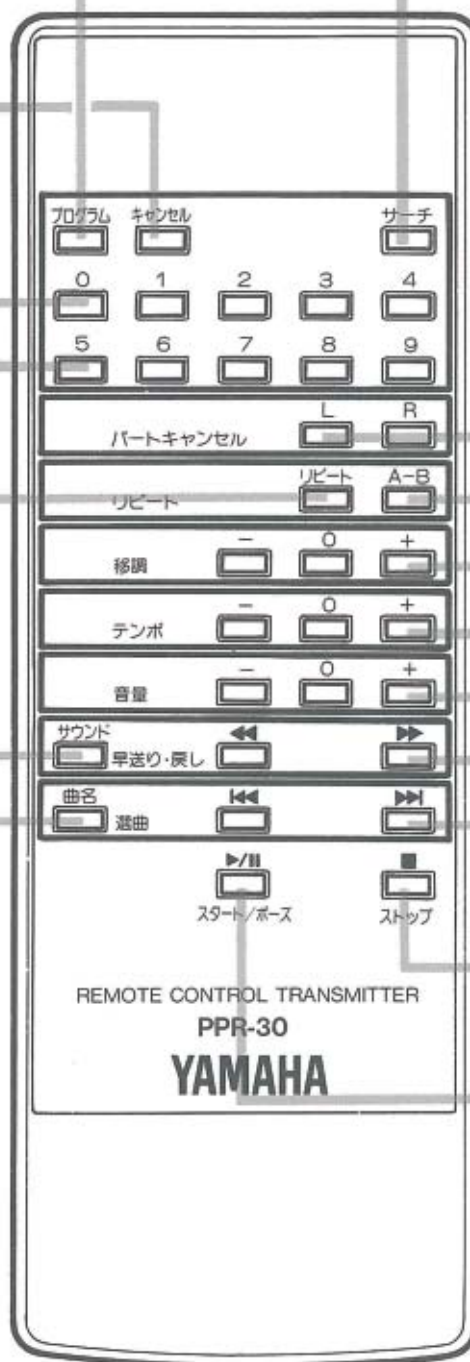
ダイレクト選曲・プログラム・サーチ
の設定

リピートボタン 24

サウンドボタン 19

曲名表示ボタン 19

再生中に曲名が表示できます



サーチボタン 25

10キーとの組み合わせで曲の途中の頭出し

パートキャンセルボタン 20

A-Bリピートボタン 24

(同一曲内の任意の2点〔A-B間〕をくり返し再生できます。)

移調ボタン 22

(0キーは原調ダイレクト復帰)

テンポ調整ボタン 21

(0キーは、ノーマルテンポ復帰)

音量ボタン

(0キー・標準音量復帰)

早送り・早戻しボタン 19

選曲ボタン 16

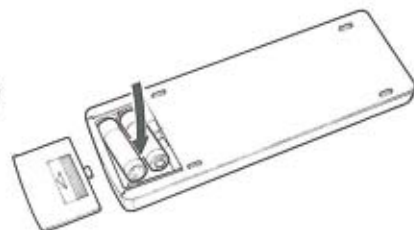
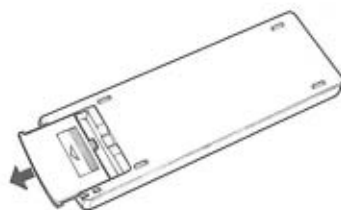
ストップボタン

スタート/ ポーズボタン

乾電池のセット

①底面のバッテリーカバーをはずします。

②⊕と⊖の向きを確認しながら、電池2本をセットします。



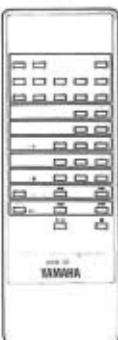
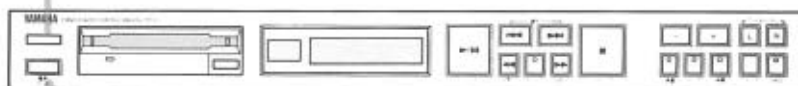
③バッテリーカバーをもとのとおりに戻します。

ご注意

- ⊕と⊖の向きを、リモコンの電池ケースの表示通りに正しく入れてください。
- リモコン電池操作でできる距離が短くなってきたら、電池を交換してください。
- 電池交換は、同じタイプの電池を2本同時に交換してください。
- リモコンを長い間使用しない場合には、液もれを防ぐため電池を取り出しておいてください。

使い方

リモコン受光部



リモコンをコントロールユニットの受光部に正しく向けてください。

表示部について

操作内容に応じてその状態を表示します。

主なものをご紹介します。(くわしくは、各操作方法の項をご覧ください。)



●曲番表示部

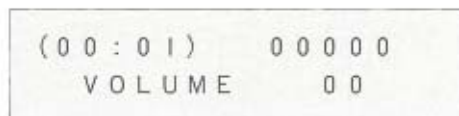
再生する曲番号を表示します。

液晶表示部

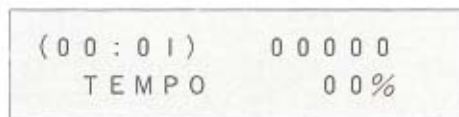
●再生機能



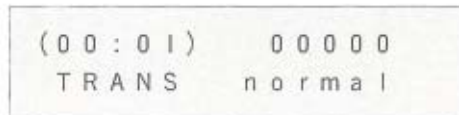
音量調整



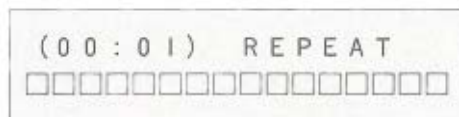
テンポ調整



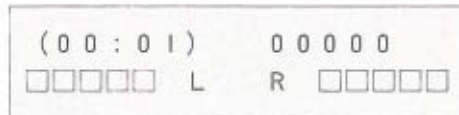
移調機能



リピート機能



パートキャンセル機能



●基本操作

**** YAMAHA ****
* PIANO PLAYER *

ディスク イレクタ サイ。

シハ ラク オマチクタ サイ。

●ディスクタイトル・曲名

YPD-1011 -----

フロッピーディスクのタイトル
↓ 約10秒後

Italian Concerto
BWV. 971-Imv.

曲名および作曲者名

※ペダル情報による表示の違い

再生経過時間の括弧表示により、ハーフペダル対応ソフト(曲)と一般ソフトの判別ができます。

(0 0 : 0 1)

ハーフペダル対応ソフト(曲)

< 0 0 : 0 1 >

一般ソフト(曲)
(ON・OFFペダル)

電源スイッチを入れると表示されます。

フロッピーディスクを入れてください。

次の表示が出るまで待ってください。
注) この表示中にディスクをぬかないでください。

フロッピーディスクを入れるとタイトルを表示

曲名を表示

●他

ホ ン タ ン ヲ オ シ テ ク タ サ イ 。

次の操作ボタンを押してください。
(5分間停止状態のとき表示されません。)

他に、エラーメッセージが表示される場合があります。

40 エラーメッセージの項をご覧ください。

フロッピーディスクについて

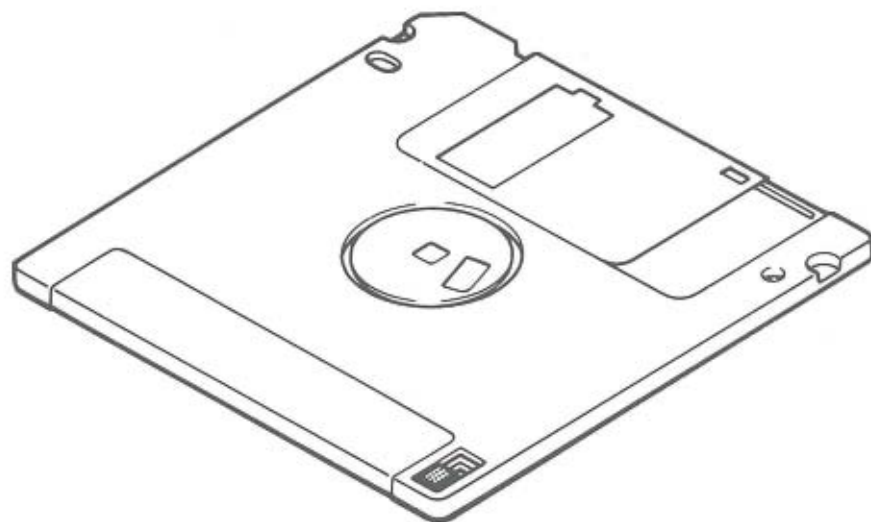
規格について

ピアノプレーヤで使えるフロッピーディスクは

- 再生用のピアノプレーヤミュージックソフト（くわしくは、ピアノプレーヤソフトカタログをご覧ください）

取り扱いについて

- シャッターをスライドさせて磁性体面に触れないでください。また、煙やスプレーを吹きかけたりしないでください。汚れが付着したり、傷がつくと使用不可能になることがあります。
- ホコリの少ない場所でご使用ください。
- テレビやラジオ、スピーカーなど、磁気を帯びたものに近づけないでください。
- 温度条件は4℃～52℃です。4℃以下や52℃以上の場所に保管しないでください。



ピアノプレーヤのミュージックソフトには、再生機能別に次の種類のタイプがあります。

●LR対応ソフト(曲)

市販のピアノプレーヤミュージックソフトの中で、連弾、スタディシリーズなどで別々(L or R)に再生できるソフトです。

パートキャンセルの項を参照

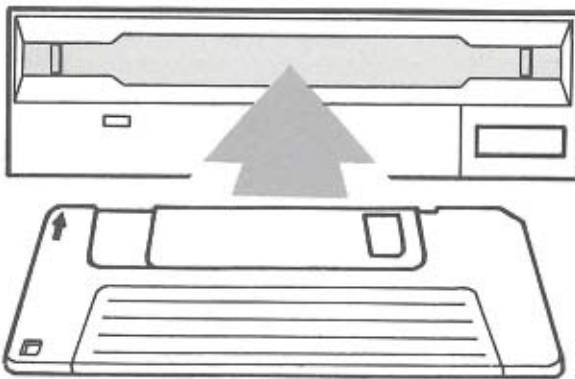
●ハーフペダル対応ソフト(曲)

ピアノプレーヤミュージックソフトの中で、HGシリーズの特長であるハーフペダル再生ができるソフトです。

ハーフペダル再生とは、ペダリングのタイミングはもちろんのこと、スピード・中間的な位置をも再生する機能で、このハーフペダル再生により自動演奏の忠実度・表現力が飛躍的に向上します。

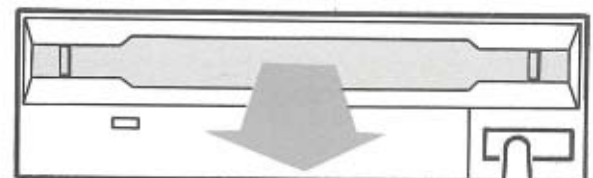
フロッピーの出し入れ

1. 入れかた



ラベル面を上にして入れる

2. 取り出しかた



ディスク取り出しボタン

取り出しボタンを押して取り出す

再生のしかた

1. 電源を入れる

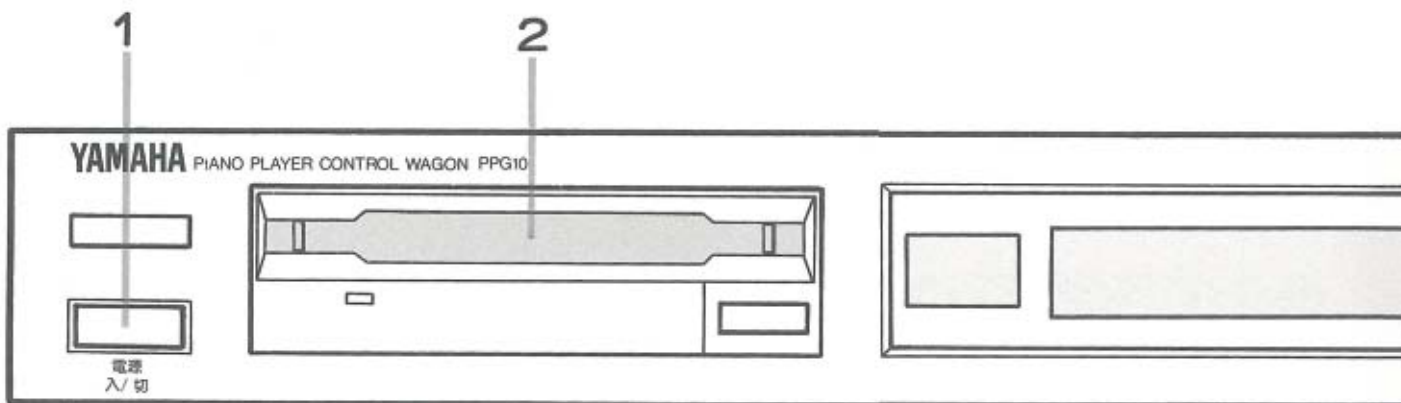
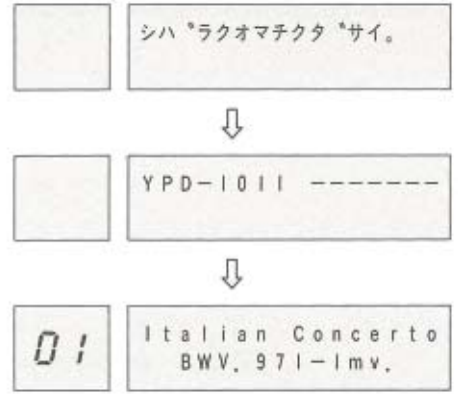


表示部



ディスクライレクタ *サイ。

2. フロッピーディスクを入れる。



選曲

曲を選びたいとき

のボタンを押して選曲してください。

ダイレクト選曲

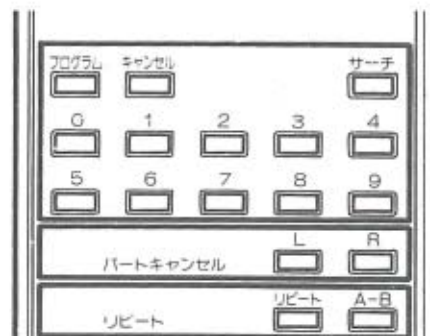
リモコンの10キーを押すと
直接希望の曲を選べます。

例 3曲目を選曲したいとき

を押す

10曲目を選曲したいとき

につづいて を押す



3. スタートボタンを押す

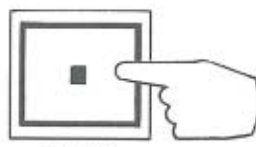


スタート/ポーズ

表示部

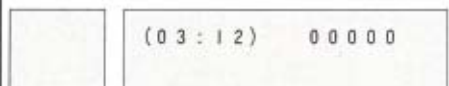


再生をやめるときは



ストップ

表示部



ストップボタンを
押す

再生を一時停止したいときは、ポーズボタンを押す

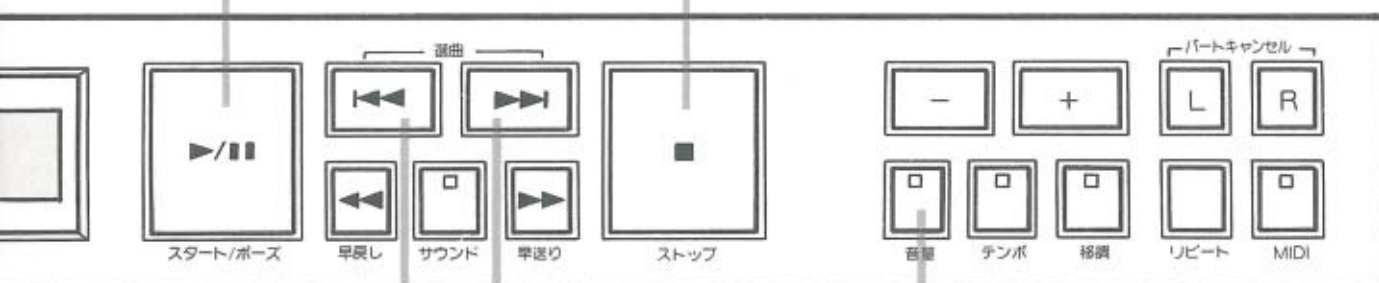


スタート/ポーズ

再スタートはもう一度押す

3

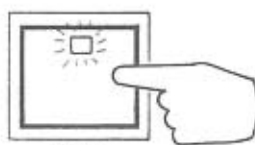
ストップ



音量調整

1. 音量ボタンを押す

点灯

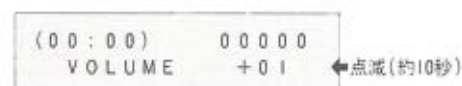
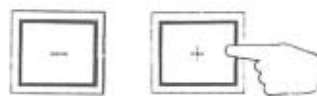


音量



←点減(約10秒)

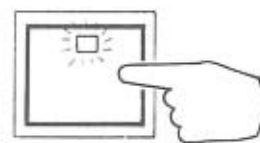
2. +-ボタンで音量を調整する



←点減(約10秒)

音量設定を確認したいとき

点灯



音量

音量ボタンを押す

- 音量調整は標準音量の「00」を含め「-10~+02」の13段階に調整できます。
- オリジナルの演奏にいちばん近い音量は「00」(標準)です。
- 楽曲により弱音量で再生したとき、連打などのパッセージで音抜けする場合は、音量を上げてください。(ピアノプレーヤは実際に鍵盤とアクションを動かして再生するためです。)
- 自動演奏をたのしむ環境・お好み・楽曲に合った再生音量をお選びください。

再生機能のご紹介

通常の再生のほかに、次の機能があります。

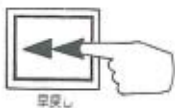

再生機能	内 容	参照ページ
音量調整	再生音量の調整	17
テンポ調整	再生テンポの調整	21
移調機能	再生時、曲全体を移調できます。	22
リピート機能	各種のくり返し再生ができます。 ●一曲リピート 指定の曲をくり返し再生します。 ●全曲リピート フロッピーディスク全曲を曲順により、くり返します。 ●ランダムリピート 曲順を自動的に組み替えてくり返します。 ●A-Bリピート 一曲内の任意の2点（A・B点）間の早戻し機能。	24
パートキャンセル機能	LR対応曲の片方のパートごとの再生。	20
早送り・早戻し	曲内で、音出し・無音の2種類の早送り・早戻しができます。	19
選曲	選曲ボタンで、曲の頭出しができます。 リモコンでは、10キーを使って曲番によるダイレクト選曲ができます。	16
プログラム再生	希望の曲順での再生ができます。	23
サーチ機能	再生経過時間（または、小節指定）で、曲の途中の頭出しができます。	25
曲名表示	再生中、曲名を液晶表示部に表示できます。	19

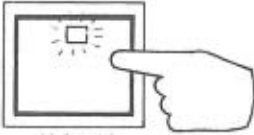

操作方法については、参照ページに説明があります。

いろいろな再生機能

早送り・早戻し 曲名表示

早送り・早戻し

早戻ししたいとき	早送りしたいとき
早戻しボタンを押しつづける 	早送りボタンを押しつづける 
早送り・早戻しボタンをはなすと	
再生中に早送りをしたときは	再生を再開する
停止中に早送りをしたときは	停止状態となり、スタートボタンを押すと再生開始

音出し早送り・早戻し再生 (サウンドサーチ)	
1. サウンドボタンを押す  サウンドボタンのLED点灯	2. 早送り・早戻し操作をする  押しつづける⇒音出し早送り・早戻し 押してすぐはなす⇒サウンドステップ再生 (1音ずつ発音)
サウンドボタンのLEDが点灯している時は、音出し早送り・早戻し再生ができます。取り消す時は、もう一度サウンドボタンを押してください。	
音出し早送り・早戻し再生中は、鍵盤のみの再生となり、ペダルは動作しません。再生音量は、弱音量になります。	

サウンドステップ再生は一音単位の位置出しをすることができます。

曲名表示

再生中に曲名を確認したいときは
リモコンの曲名ボタンを押してください。

液晶表示部に約10秒間、曲名が表示されます。

パートキャンセル

L R対応曲の再生の際、片方ずつ聞きたいとき

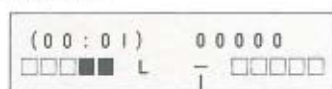
Lパートのみ聞きたいとき

パートキャンセルボタンのRボタンを押す



Lパートのみ再生します

液晶表示部



Rパートキャンセル状態

もう一度Rボタンを押すと元に戻ります。

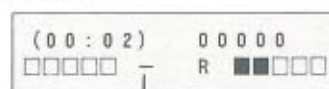
Rパートのみ聞きたいとき

パートキャンセルボタンのLボタンを押す



Rパートのみ再生します

液晶表示部

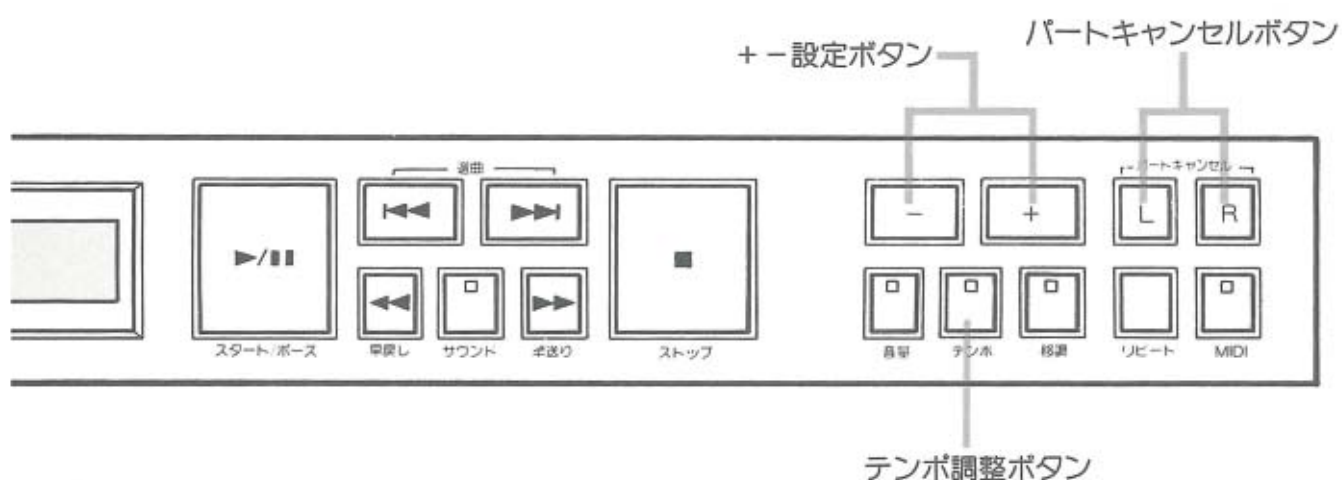


Lパートキャンセル状態

もう一度Lボタンを押すと元に戻ります。

L R対応曲とは

- 市販のピアノプレーヤミュージックソフトの中で、連弾・スタディシリーズなどで片方ずつ別々(L or R)に再生できるソフトです。



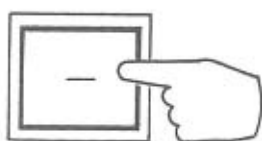
テンポ調整

おそくしたいとき

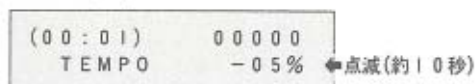
テンポ調整ボタンを押して



-ボタンを押して調整する



液晶表示部

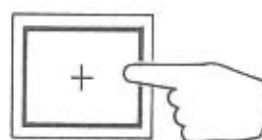


早くしたいとき

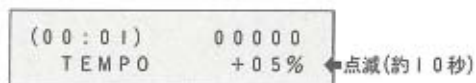
テンポ調整ボタンを押して



+ボタンを押して調整する



液晶表示部



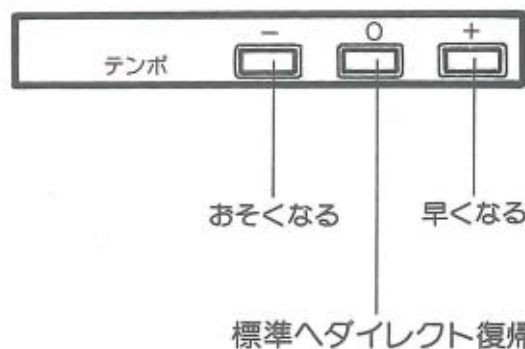
テンポ調整ボタンのLEDが点灯中は、テンポ調整が+・-ボタンで行なえます。

テンポ調整の範囲

	+	早くなる	+20%
			+10%
			+05%
			00% (標準)
			-05%
			-10%
			-20%
			-30%
			-40%
			-50%
	-	おそくなる	

リモコンでの操作

リモコンのテンポ調整用の+・-を押すと、直接テンポ調整できます。



リモコンの0ボタンを押すと
00% (標準) 位置に直接復帰します。

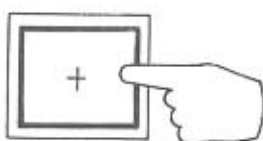
移調機能

上方向（シャープ）に移調したいとき

移調ボタンを押す



+ ボタンを押して移調する



液晶表示部

(00:01) 00000
TRANS IKey-UP 点減(約10秒)

下方向（フラット）に移調したいとき

移調ボタンを押す



- ボタンを押して移調する



液晶表示部

(00:01) 00000
TRANS IKey-down 点減(約10秒)

移調ボタンのLEDが点灯中は、移調が+・-ボタンで行なえます。

移調の範囲

	表示	例
	2 oct-UP	C
	1 oct-UP	C
	6 Key-UP	F#
	5 Key-UP	F
	4 Key-UP	E
	3 Key-UP	D#
	2 Key-UP	D
	1 Key-UP	C#
	normal (標準)	C (原調)
	1 Key-down	B
	2 Key-down	Bb
	3 Key-down	A
	4 Key-down	Ab
	5 Key-down	G
	6 Key-down	Gb
	1 oct-down	C
2 oct-down	C	

リモコンでの操作

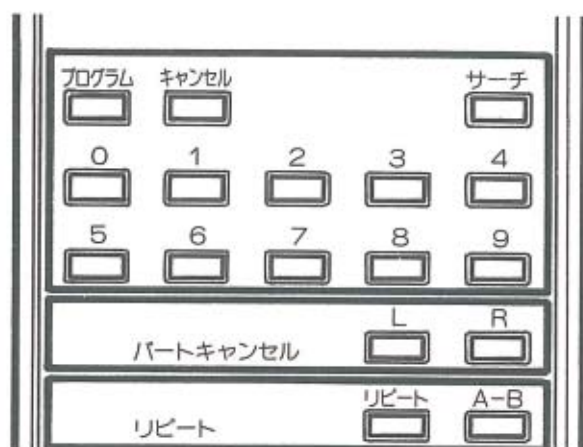
リモコンの移調用の+・-を押すと、直接移調操作ができます。



down(b) UP (#)
標準(原調)へダイレクト復帰

リモコンの0ボタンを押すと
normal(標準=原調)に直接復帰します。

プログラム再生（希望する曲順に再生する。）



●フロッピーディスクに収録されている曲を希望する順番に並べ替えて再生します。

●プログラム再生できる曲数は30曲までです。

操作手順

1. プログラムボタンを押す
2. 10キーで曲番を選ぶ
3. 1、2のくり返し
4. プログラムボタンを押す
5. スタートボタンを押して、再生開始

操作例（3曲目、10曲目、7曲目でプログラム再生する。）

	操作手順	液晶表示部	内 容
1	プログラムボタンを押す 	PROGRAM NO. = 0 1 	プログラム設定開始
2	10キーで曲番を選ぶ 	PROGRAM NO. = 0 1 	1曲目の曲番（3）を指定
3	プログラムボタンを押す 	PROGRAM NO. = 0 2 0 3	2曲目の操作に移る
4	10キーで曲番を選ぶ 	PROGRAM NO. = 0 2 0 3	2曲目の曲番（10）を指定
5	プログラムボタンを押す 	PROGRAM NO. = 0 3 0 3 1 0	3曲目の操作に移る
6	10キーで曲番を選ぶ 	PROGRAM NO. = 0 3 0 3 1 0	3曲目の曲番（7）を指定
7	プログラムボタンを押す 	PROGRAM NO. = 0 3 0 3 1 0 0 7	3曲目が確定します
8	スタートボタンを押す 	プログラム再生スタート 3、10、7の順に再生します	

プログラムの解除

1. ストップボタンを押し停止状態にする 	2. キャンセルボタンを押す 	PROGRAM CLEAR /
--------------------------	--------------------	-----------------

フロッピーディスクをぬく、あるいは電源を切るとプログラム内容はすべて取り消されます。

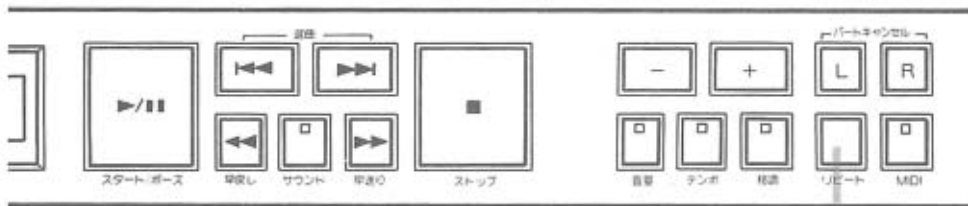
いろいろな再生機能 (つづき)

リピート再生

リピート再生 (くり返し聞きたいとき)

リピードモード	操 作	液晶表示部	リピート機能
1 曲 リピート	 リピートボタンを押す <small>リピート</small>	(00:01) REPEAT □□□□□□□□□□□□□□□□	再生中の曲を一曲 くり返します
↓			
全曲 リピート	 リピートボタンを押す <small>リピート</small>	(00:01) ALL □□□□□□□□□□□□□□□□	再生中のフロッピーディ スクの全曲をくり返します
↓			
ランダムリピート	 リピートボタンを押す <small>リピート</small>	(00:01) RANDOM □□□□□□□□□□□□□□□□	曲順を自動的に組み替えて くり返します
↓			
リピート解除	 リピートボタンを押す <small>リピート</small>	(00:01) 00000 □□□□□□□□□□□□□□□□	リピート機能はすべて 解除されます

リピート回数は255曲までです。




リピート

A-Bリピート (リモコン操作)

再生中に2箇所 (同一曲内のA点・B点) を指定し、その2点間をくり返し再生できます。

A点指定

液晶表示部

 1回

(00:12) A-SET
□□□□□□□□□□□□□□□□

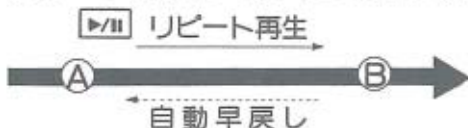
B点指定

液晶表示部

 2回

(00:20) AB REPEAT
□□□□□□□□□□□□□□□□

B点まで行くと、自動的にA点に戻ります。
スタートボタンを押すと再生を開始します。



A-Bリピートの解除

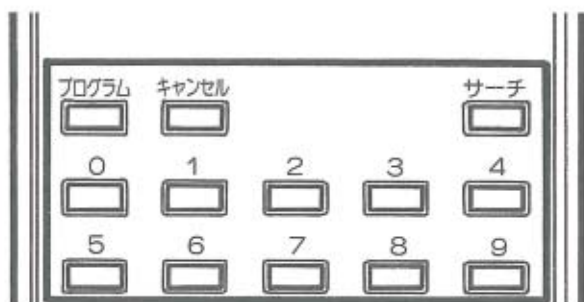
A-Bリピートボタンをもう一度押すと解除されます。

リターン&ストップ

A点のみ指定し、 を押しつづけるとA点に戻り、停止します。
スタートボタンを押すとA点から再生を開始します。



ダイレクトサーチ (再生経過時間/メジャー (小節)・ビートでの再生頭出し)






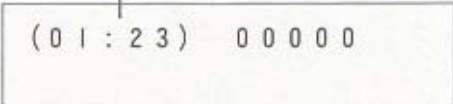

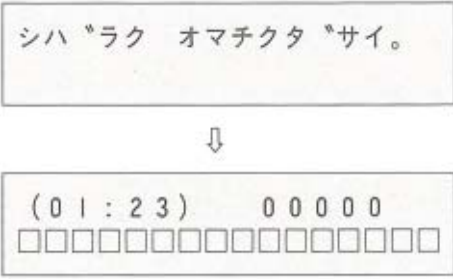
●再生経過時間/小節・拍子を指定し、頭出しができます。

操作手順 (リモコンを使用します)

1. サーチボタンを押す
2. 10キーで頭出し箇所を指定する



※再生経過時間/メジャー (小節)・ビートの表示の切り替えは、29ページをご覧ください。

操作例 (1分23秒の箇所を頭出しする。)

	操作手順	液晶表示部	内 容
1	サーチボタンを押す 		サーチ設定開始
2	10キーで指定する 		頭出し箇所を指定
3	サーチボタンを押す 		頭出し完了

- サーチ指定箇所は電源を切るまでメモリーしています。
- なお、サーチ指定箇所は再生経過時間 (小節・ビート) でメモリーしていますので、サーチボタンを押した曲内でサーチします。
- 指定の再生経過時間 (小節・ビート) が曲の再生時間を越える場合は、曲の終わりを呼び出します。

小節表示での指定値

サーチ箇所指定入力	
液 晶 表 示 部	 12小節の3ビート目

29ページ参照

使用例

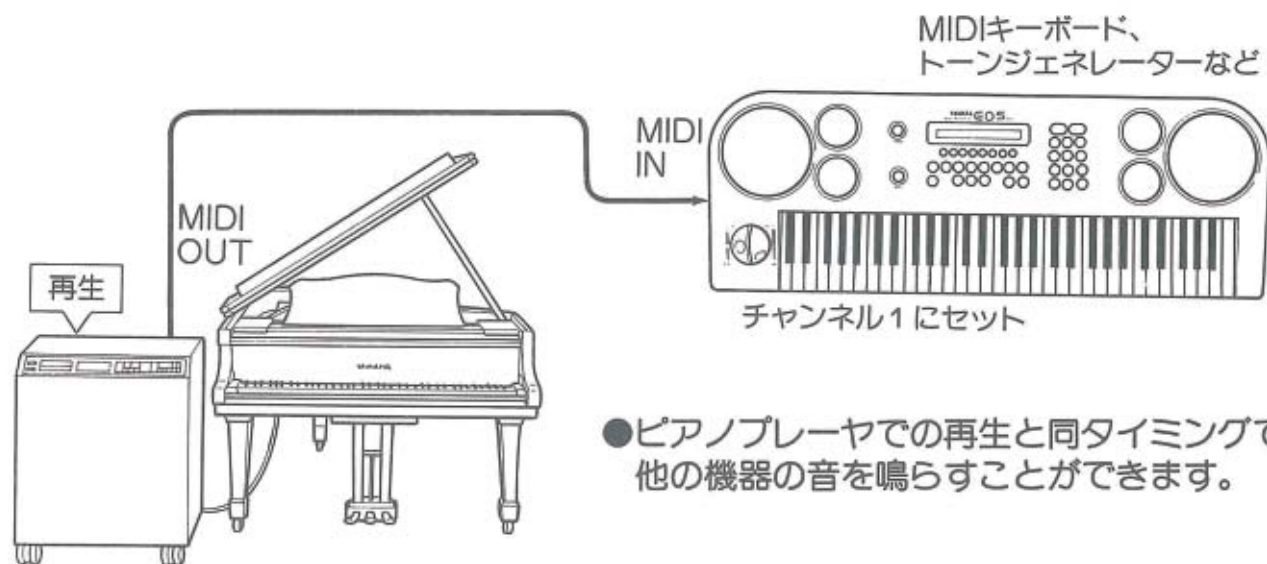
ピアノプレーヤにはMIDI OUT/INの2つの端子があります。

他のMIDI機器とつないでアンサンブルなどができます。

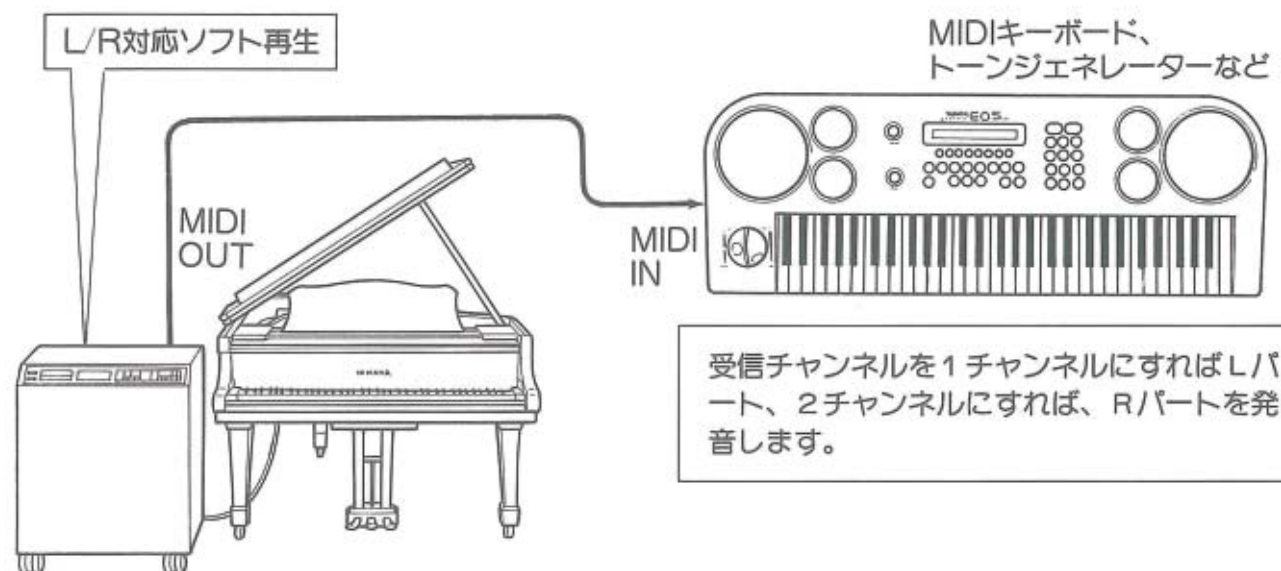
(接続する機器の取扱説明書をあわせてご覧ください。)

MIDI OUTの使用例

1 MIDI規格のキーボード・トーンジェネレーターなどとの接続



2 L/R対応ソフトの活用例

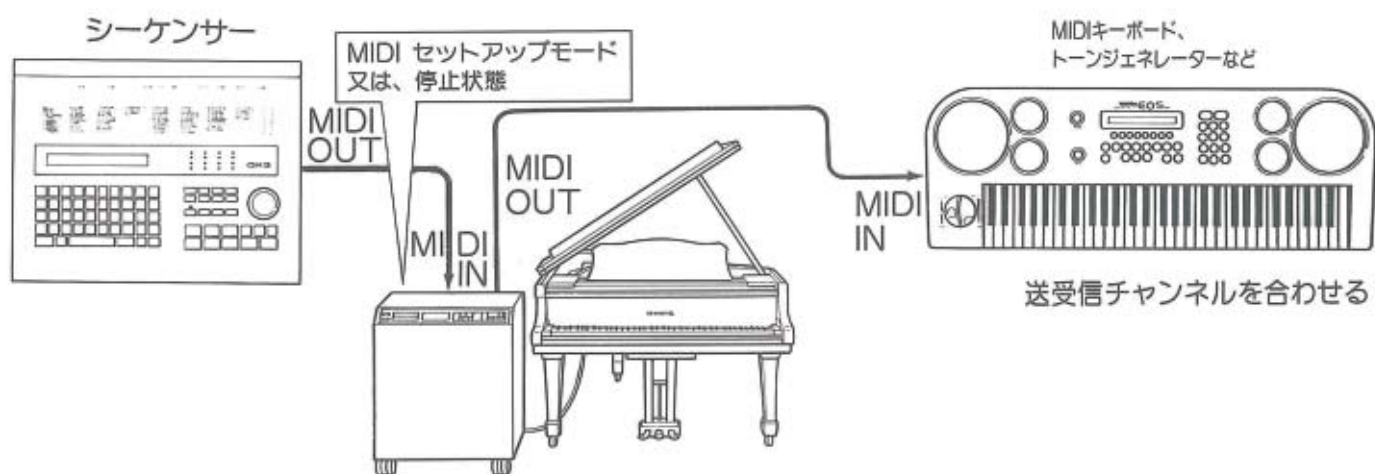


パートキャンセル機能を使って、外部機器で発音させる方の音をカットする。

MIDI IN OUTの使用例

1 シーケンサーによる他の機器との同時再生

シーケンサーなどでピアノプレーヤと他の機器をつなぎ、鳴らしたいときは、図のようにピアノプレーヤのMIDI OUTを経由してつないでください。



タイミング調整とMIDI OUT遅延バッファ

ピアノプレーヤは通常設定 (DELAY IN) の場合、MIDI IN端子にデータがとりこまれてから実際に音が出るのは0.5秒(500m sec)後です。(これはフロッピーディスクでの再生時も同じ)

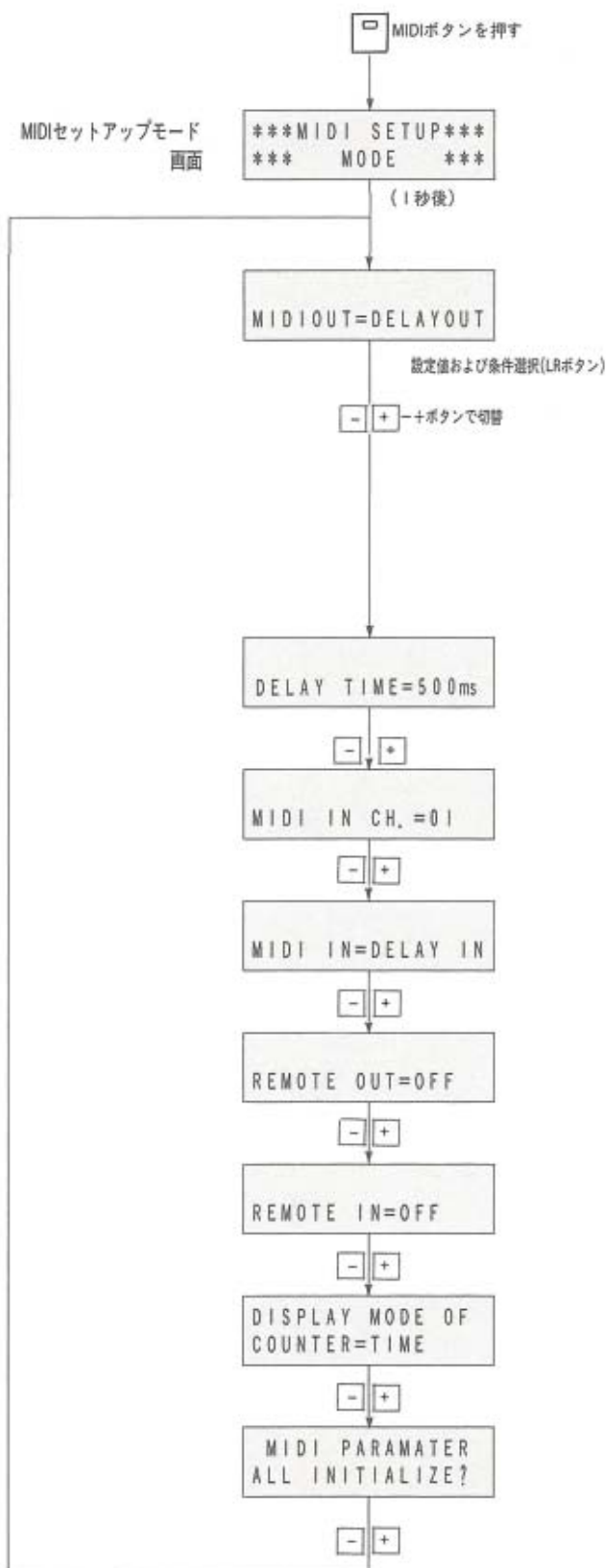
この発音が0.5秒おくれる理由は、自動演奏する音の強弱によってアクション (鍵盤) が動き始めてから発音するまでの時間が異なるのをタイミング調整により、すべて0.5秒後に発音するようにそろえるためです。

又、MIDI OUTに接続した外部音源をピアノの自動演奏のタイミングに合わせるために、MIDI OUTをタイミング調整と同様に500m secおくらせる必要があります。そのため、MIDI OUT遅延バッファは通常500m secに設定されております。

又、タイミング調整は、再生中には、設定条件に関係なくDELAY INとなります。(REAL TIMEの使い方は31ページをご覧ください。)

MIDIセットアップモード

MIDI機能の送受信条件の切替・設定は、MIDIセットアップモードで行ないます。



- MIDIセットアップモードを解除するときは、MIDIボタンを押す。
- MIDIセットアップモードを解除すると、設定されたMIDI送受信条件での再生機能の操作が可能となります。

MIDIパラメータ (設定項目・条件)

設定項目	初期設定状態	変更範囲・条件
MIDIOUT	DELAYOUT	DELAYOUT に固定
MIDI OUT CH.	01	01~16,HP 設定：LRボタン
MIDIOUT TRNS	00	-60~+60 設定：LRボタン
MIDIOUT SPLT	00	00~88 設定：LRボタン
DELAY TIME	500ms	000~700ms 設定：LRボタン
MIDI IN CH.	01	01~16,HP 設定：LRボタン
MIDI IN	DELAY IN	DELAY IN REALTIME 切替：LRボタン
REMOTE OUT	OFF	OFF ON 切替：LRボタン
REMOTE IN	OFF	OFF ON 切替：LRボタン
DISPLAY MODE OF COUNTER	TIME	TIME MEASURE 切替：LRボタン
MIDI PARAMETER ALL INITIALIZE?	Rボタンを2回押すと 全パラメータが初期設定状態になる操作 ●Rボタンを1回押すと <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">ALL INITIALIZE??</div> ●Rボタンをもう1回押すと <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">COMPLETE /</div> 終了	

MIDI パラメータ(設定項目・条件)

設定項目	内 容
MIDIOUT 出力データの切替	ピアノプレーヤの出力データの切替 DELAYOUT/フロッピーディスク或いはMIDI INからの情報を500ms遅らせてMIDI OUTする。
DELAY TIME	DELAYOUT時のデータ遅延時間の変更 外部音源の発音タイミングを調整する 設定範囲：000~700ms (500msが標準) 使用例：ピアノプレーヤを2台、同時演奏したいとき、000msに設定すると同じタイミングでの再生になります。(500msのままの場合、MIDI IN側が遅れて発音する。) (オーバーダブ/パンチン時のPLAYBACKMONITOR=PIANOのときのタイミング調整にもなる。)
MIDI IN CH.	MIDI受信チャンネルの設定 受信チャンネル：1~16.HP HP/ピアノプレーヤ(本機と同タイプのハーフペダル仕様品)専用チャンネル(1,3チャンネル固定で、3チャンネルはハーフペダル情報専用チャンネル)
MIDI IN 発音タイミングの切替	MIDI受信側の発音タイミングの切替 外部音源からのデータに可能な限り同タイミングでピアノプレーヤを発音させたいとき DELAY IN：外部音源から約0.5秒遅れて発音します。 REALTIME：外部音源と可能な限り同タイミングで発音します。但し、弾かれた音量により発音タイミングが異なります。弱音量で弾かれた場合、ピアノのアクションの関係から、タイミングが遅れがちとなります。 再生中は設定条件に関係なくDELAY INとなる。
REMOTE OUT	スタート・ストップ・コンティニュー・ソングポジションポインタ・ソングセレクト・MIDIクロックを送信可能にする。 OFF/ON MIDIクロックの設定はメトロノーム機能で操作する。
REMOTE IN	スタート・ストップ・コンティニュー・ソングポジションポインタ・ソングセレクトを受信可能にする。 OFF/ON MIDIクロックの受信はできません。
DISPLAY MODE OF COUNTER	再生画面の再生経過時間と小節標示の切替 TIME：再生経過時間表示 MEASURE：小節表示 小節表示の場合 (024-3) 0000—4拍子 24小節 3ビート 3ビート(メトロノームの3拍目)
MIDI PARAMATER ALL INITIALIZE	MIDIパラメータをすべて初期設定に戻すときに使います。 詳細は前ページをご覧ください。

設定されたパラメータは電源を切ってもメモリーされています。

MIDIデータフォーマット

1 送信条件

ディスクデータ (再生時)	\$00~\$F0, \$F7
受信データ (停止時)	\$00~\$FF



2 送信データ

●システムインフォメーション

1)システム・コモン・メッセージ

①ソングポジションポインター

スターテス	1 1 1 1 0 0 1 0
値 (LSB)	0 L L L L L L L L
値 (MSB)	0 h h h h h h h h

REMOTE OUTがONの場合、送信します。

②ソングセレクト

スターテス	1 1 1 1 0 0 1 1
ソング№	0 s s s s s s s s s = 0~127

REMOTE OUTがONの場合、送信します。

2)システム・リアルタイム・メッセージ

②タイミングクロック

ステータス 1 1 1 1 1 0 0 0

REMOTE OUTがONの場合、送信します。

③スタート

ステータス 1 1 1 1 1 0 1 0

REMOTE OUTがONの場合、送信します。

④コンティニュー・スタート

ステータス 1 1 1 1 1 0 1 1

REMOTE OUTがONの場合、送信します。

⑤ストップ

ステータス 1 1 1 1 1 1 0 0

REMOTE OUTがONの場合、送信します。

⑥アクティブ・センシング

ステータス 1 1 1 1 1 1 1 0

ある間隔をおいて常に送信します。

※他のシステム（E-seq対応）で記録したディスクを再生した場合は、全てのチャンネルインフォメーション、およびシステムエクスクルーシブメッセージを送出可能です。

※MIDI OUT=DELAY OUTの状態で、かつ停止時には、MIDI INで受信したデータを500msec遅らせて、そのままMIDI OUTに出力します。

●システムインフォメーション

1)システム・コモン・メッセージ

①ソングポジションポインター

ステータス 1 1 1 1 0 0 1 0
値 (LSB) 0 L L L L L L L L
値 (MSB) 0 h h h h h h h h

REMOTE INがONの場合受信します。

②ソングセレクト

ステータス 1 1 1 1 0 0 1 1
ソングNo 0 s s s s s s s s s = 1 2 7

REMOTE INがONの場合受信します。

2)システム・リアルタイム・メッセージ

①スタート

ステータス 1 1 1 1 1 0 1 0

REMOTE INがONの場合、受信します。

②コンティニュー・スタート

ステータス 1 1 1 1 1 0 1 1

REMOTE INがONの場合、受信します。

③ストップ

ステータス 1 1 1 1 1 1 0 0

REMOTE INがONの場合、受信します。

④アクティブ・センシング

ステータス 1 1 1 1 1 1 1 0

MIDIインプリメンテーションチャート

[YAMAHA PIANO PLAYER]

Date : 06/09, 1989

Model HG-1 MIDI Implementation Chart

Version : 1.0

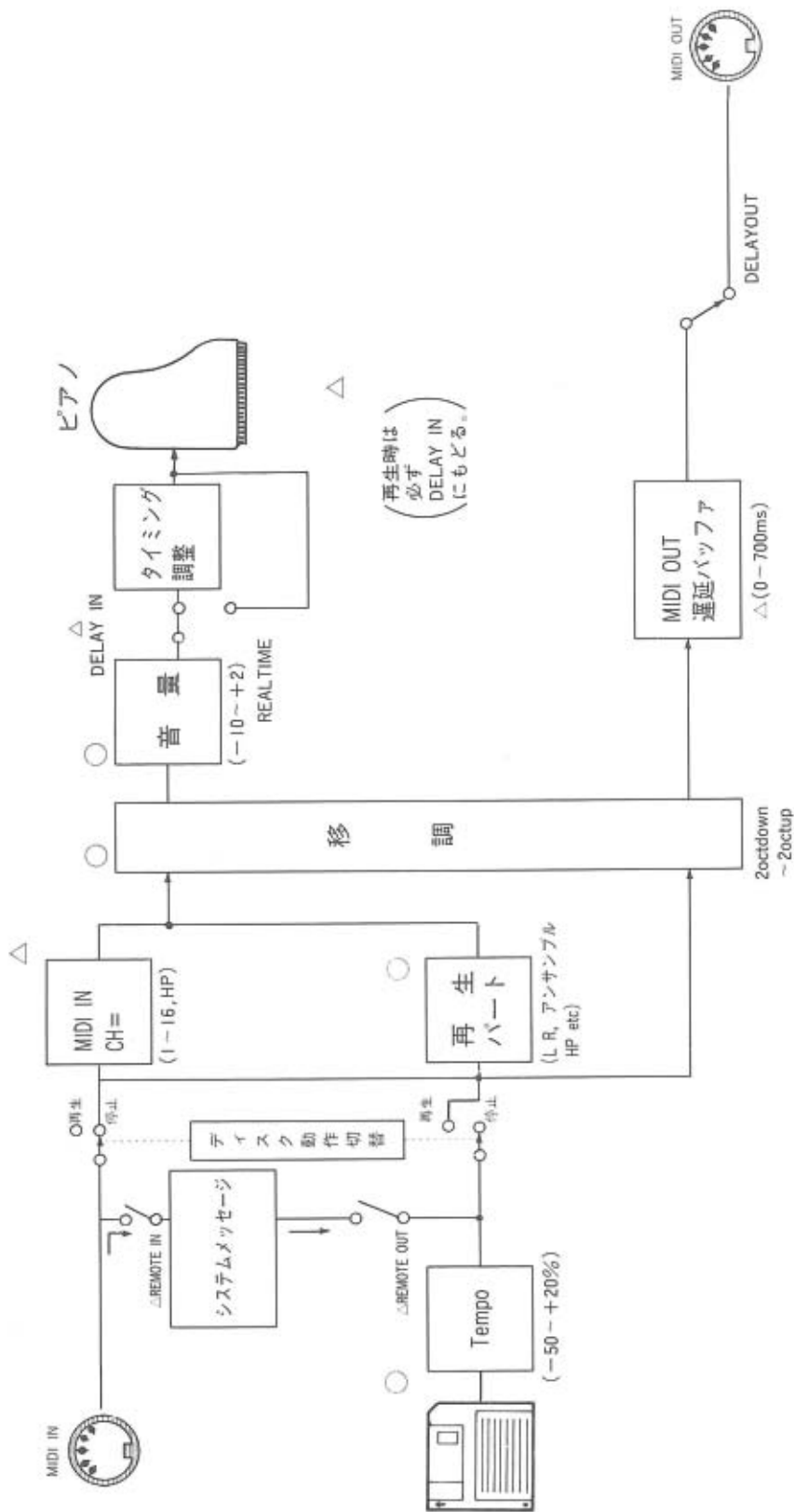
Function ...	Transmitted	Recognized	Remarks
Basic Channel	Default × Changed ×	1-16 1-16	memorized HP-> ch1,3
Mode	Default × Messages × Altered *****	3 × ×	
Note Number	True voice × *****	21-108 21-108	
Velocity	Note ON × Note OFF ×	○ \$9n, V=1-127 × \$9n, V=0	
After Touch	Key's × Ch's ×	× ×	
Pitch Bender	×	×	
Control Change	64 × 67 × *****	○ ○	Sustain Pedal Soft Pedal
Prog Change : True #	× *****	×	
System Exclusive	×	×	
System : Song Pos : Song Sel Common : Tune	○ ○ ×	○ ○ ×	* 2
System : Clock Real Time : Commands	○ ○	× ○	* 2
Aux : Local ON/OFF : All Notes OFF Mes- : Active Sense sages : Reset	× × ○ ×	× × ○ ×	
Notes	All recognized data are transmitted 500msec (0-700msec) later if controller mode is STOP and DELAYOUT mode is on. * 1=All data are enabled to transmitted as record data if other E-seq disk is used . * 2=Enabled or disabled by command.		

 Mode 1 : OMNI ON, POLY
 Mode 3 : OMNI OFF, POLY

 Mode 2 : OMNI ON, MONO
 Mode 4 : OMNI OFF, MONO

 ○ : Yes
 × : No

ブロックダイアグラム



- ：通常の再生状態の操作でにセット可能
- △：MIDI SETUP MODE時にセット可能

MIDIトラブルノウハウ集

MIDI接続をした場合に起こりやすい間違いや、トラブルの対策をまとめました。

- 1 音源をもった機器をMIDI OUT端子に接続したが、外部機器側で音が出ない。**

MIDIケーブルが、本機のMIDI OUTと外部機器のMIDI IN間に確実に接続されているか？
外部機器の受信チャンネルは、本機の送信チャンネルと一致しているか？

- 2 キーボードやシーケンサーを本機のMIDI IN端子に接続し、外部機器側で演奏したが、ピアノが打鍵されない。**

MIDIケーブルが、外部機器のMIDI OUT端子と本機のMIDI INに確実に接続されているか？
本機の受信チャンネルは、外部機器の送信チャンネルと一致しているか？
ピアノの音量設定が低くセットされていないか？
本機とピアノの間の接続ケーブルが、確実に接続されているか？

- 3 キーボードやシーケンサーを本機のMIDI IN端子に接続し、外部機器側で演奏したが、ピアノの打鍵が遅い。**

情報を受けてから、実際にピアノが打鍵されるまで、約0.5秒かかります。
→MIDI IN=REALTIMEにする。

- 4 ピアノで演奏または再生している時に、ピアノは問題ないが、外部機器側だけが、ある鍵盤から上、または下が発音されない。**

L/R対応曲を再生していないか？

- 5 アンサンブル対応曲を再生したが、外部機器が全てのパートを受信してしまう。**

外部機器の受信チャンネルの設定がOMNI ONになっていないか？

- 6 本機のMIDI IN端子に接続したキーボード等から、本機のMIDI OUT端子側に接続したキーボード等に、音色データをダンプしようとしたが、本機に“MIDI DATA ERROR”と表示され、実行できない。**

大量のデータを送出するときは、本機を経由させないで、ダンプさせてください。

- 7 自分でアンサンブル対応曲を録音したが、再生の際にリズムが狂ってしまう。**

データ量が多いと、リズムが狂うことがあります。

ピアノを保護するためにも、データ量を過度に多くしないでください。また、連打や長い音符はなるべく入れないようにしてください。

- 8 ピアノが同じ音を何度も打鍵する。**

MIDIケーブルの配線がループ状になっていないか？

- 9 本機の再生をスタートさせると同時にリズムマシンやシーケンサーを、システムリアルタイムメッセージによりスタートさせようとしたが、それができない。**

REMOTE OUT=ONにする。

- 10 外部からシーケンサー等を使って、ピアノプレーヤを同期させようとしたが、かからない。**

REMOTE IN=ONにしても、外部クロックは受けません。

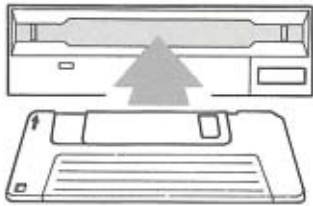
スタートストップetcのみ受信。

記録データの互換性について

ピアノプレーヤのデータフォーマット仕様は、ヤマハE-seqです。
 ヤマハE-seq機器(ヤマハデジタルシーケンサーQX-3等が代表的)と互換性があります。
 尚、ピアノプレーヤ以外のヤマハE-seq機器で記録したデータをピアノプレーヤで再生したいときは、「登録」の操作を行ってください。


登録操作について (リモコンではできません)

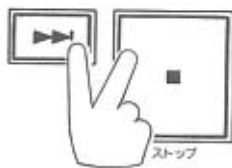
1. 他のE-seq機器で記録したフロッピーを入れる。



液晶表示部

ファイル名 *ミツカリマセン。
 トウロクシナオシテクタ *サイ。

2. ストップボタンを押しながら
 ボタンを表示がでるまで
 押しつづける。



トウロク シマスカ?

3. スタートボタンを押す。



トウロク シマスカ??

4. もう一度スタートボタンを押す。



スタート/ポーズ

トウロク シテイマス。



01

登録が完了し、ピアノプレーヤで再生できます。

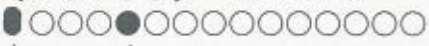
上記の「登録」によって、ピアノプレーヤで再生可能となったフロッピーディスクはアンサンプル対応曲となり、次の手順で再生の操作をします。

液晶表示部

<00:00> 00000
 ENSEMBLE (PART 01)





停止中

↑
 LRボタンにより再生パート選択

<00:00> 00000


再生中

再生パート NOTE: ONパート

-  : ピアノ再生パート
-  : 他パート
-  : NOTE ON
-  : NOTE OFF

ピアノプレーヤ(MXシリーズ)とのディスク互換性

- HGシリーズで記録したものをMXシリーズで再生する時に、通常のテンポでは正確に再生されない場合には、HGシリーズのテンポを117に設定の上記録して下さい。

仕様

電源	AC100 V ±10% 50/60Hz
定格消費電力	100W
コントロールユニット	
パネルスイッチ	16 スタート/ポーズ・ストップ・選曲(2)・早送り・早戻し・サウンド・+・-ボタン パートキャンセルボタン(L・R)・音量・テンポ・移調・リピート・MIDI
LCD(液晶表示部)	16文字×2
LED(液晶表示部)	7セグメント×2桁
記録メディア	3.5 インチ フロッピーディスク(2DD)
最大記録	曲数: 60曲
	記録容量: 628Kbyte
	曲名: 32文字
	ディスクタイトル: 64文字
ドライブユニット	
キードライブ	88鍵
	最大同時発音数: 16音
ペダルドライブ	ラウド・ソフトペダル
入出力	MIDI IN/OUT
使用条件	温度: 5~40℃
付属品	取扱説明書(本書) 試聴用フロッピーディスク リモコン リモコン用電池(単3×2個) 接続ケーブル

エラーメッセージについて

本機は、不適当な操作を行なおうとした場合など、不都合が起きると、液晶表示部に警告やエラーを意味する言葉を表示することがあります。このようなときには、原因を確認したうえで処置を施してください。また、ここでは故障と勘違いしやすいメッセージも記載します。

表 示	原 因	処 置
テ `ィスクヲ イレテクダ `サイ。	電源をONにすると必ず表示されます。	
コノテ `ィスクハ ツカエマセン。 トウロク ヲ シテクダ `サイ。	他のシステムで使用していたディスクを挿入した。	他のシステムで使用していたディスクを使用するには、登録する必要があります。
ERROR OCCURRED / / (PUSH STOP KEY /)	ディスクの不良	ディスクを交換してください。
	ハードの異常	ストップキーを押してエラー表示を解除してください。もし頻繁に起こるようであれば、販売店またはヤマハサービス窓口にご連絡ください。
ファイルカ ` ミツカリマセン。 トウロク シナオシテクダ `サイ。	再生中にエラーが発生した。	
トウロク テ `キマセン	ディスクの不良。	ディスクを交換してください。
シハ `ラク オマチクダ `サイ。	操作できる状態になるまでに時間がかかる時には、必ず表示されます。この表示の時にディスクを取り出さないでください。	
ホ `タンヲ オシテクダ `サイ。	5分間停止状態のときに表示されます。	次の操作ボタンを押してください。

ちょっとお調べください

本機をご使用中に正常に動作しなくなったときは、下記の事項をご確認ください。そのうえで正常に動作しない、あるいは下記以外で何か異常が認められました場合は、本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げ店または最寄りのヤマハ各支店へ、お問い合わせ下さい。

症 状	原 因	処 置
電源が入らない。	コントロールワゴンのリアパネルのメインスイッチがOFFになっている。 電源プラグまたは接続ケーブルの差し込み不完全。	メインスイッチをONにしてください 確実に差し込んでください。
再生ができない。	電源プラグの差し込み不完全。	確実に差し込んでください。
	不適当な操作を行なおうとした。	“エラーメッセージについて”の項を参照。
	消去済みの曲を再生しようとした。	
何度も繰り返し、再生されてしまう。	リピート機能が働いている。	リピート機能を解除してください。
再生時に、ピアノから接触音が聞こえる。	駆動部が鍵盤後方下部を突き上げる仕組みなので、再生時に音量を下げると接触音が聞こえることがあります。	
再生時に音抜けがする。	三連符、トリルなど速いパッセージで、鍵盤が元の位置に戻らないうちに次の打鍵が始まる曲は、再生時に音抜けを生じることがあります。	
	テンポの設定が速すぎる。	テンポを遅くする。
	音量の設定が低すぎる。	音量を上げる。

保証とサービスについて

本機の保証期間は、保証書によりご購入から1ヶ年で
す。(現金、ローン、月賦などによる区別はございません。
) また保証は日本国内にてのみ有効といたします。

●保証書

保証書をお受け取りのときは、お客さまのご住所、お
名前、お買い上げ月日、販売店名などを必ずご確認ください。
無記名の場合は無効になりますので、くれぐ
れもご注意ください。

●保証書は大切にしましょう！

保証書は弊社が、本機をご購入いただいたお客さまに
ご購入の日から向う1ヵ年間の無償サービスをお約束
申し上げるものですが、万一紛失なさいますと保証期
間中であっても実費を頂戴させていただくことになり
ます。万一の場合に備えて、いつでもご提示いただけ
ますように充分ご配慮のうえで保管してください。ま
た、保証期間が切れましてもお捨てにならないでくだ
さい。後々のサービスに際しての機種判別や、サー
ビス依頼店の確認など便利にご利用いただけます。

●保証期間中のサービス

保証期間中に万一故障が発生した場合、お買上げ店に
ご連絡頂きますと、技術者が修理・調整致します。こ
の際必ず保証書をご提示ください。保証書なき場合に
は、サービス料金を頂く場合もあります。又お買上げ
店より遠方に移転される場合は、事前にお買上げ店
あるいはヤマハにご連絡ください。移転先におけるサ
ービス担当店をご紹介申し上げますと同時に、引き続
き保証期間中のサービスを責任をもって行なうよう手
続き致します。

満1ヵ年の保証期間を過ぎますとサービスは有料とな
りますが、引き続き責任をもってサービスをさせてい
ただきます。なお、補修用性能部品の保有期間は最低
8年となっています。そのほかご不明の点などござい
ましたら、右記のヤマハサービス網までお問い合わせく
ださい。

ヤマハピアノプレーヤについてのお問い合わせは、
もよりのヤマハピアノ特約店/下記のヤマハへ。

北海道支店	〒064 札幌市中央区南10条西1丁目1-50 TEL.011(512)6114
北海道サービスセンター	〒064 札幌市中央区南10条西1丁目(ヤマハセンター内) TEL.(011)513-5036
仙台支店	〒980 仙台市青葉区大町2-2-10住友生命青葉通りビル TEL.022(222)6148
仙台サービスセンター	〒983 仙台市若林区卸町5丁目7(仙台卸商共同配送センター3F) TEL.(022)236-0249
東京支店	〒104 東京都中央区銀座7-9-18 パールビル TEL.03(572)3145,3120
東京サービスセンター	〒101 東京都千代田区神田駿河台3-4(龍名館ビル) TEL.(03)255-2241
首都圏サービスセンター	〒211 川崎市中原区木月1184 TEL.(044)434-3100
新潟サービスセンター	〒950 新潟市万代1-4-8(シルバーボールビル2F) TEL.(025)243-4321
松本サービスステーション	〒390 松本市大手2-5-2(中村屋ビル3F) TEL.(0263)32-5930
名古屋支店	〒460 名古屋市中区錦1-18-28 TEL.052(201)5145
名古屋サービスセンター	〒454 名古屋市中川区玉川町2-1-2(ヤマハ㈱名古屋流通センター3F) TEL.(052)652-2230
浜松サービスセンター	〒435 浜松市上西町911(ヤマハ㈱宮竹工場内) TEL.(0534)65-1158
大阪支店	〒542 大阪市中央区南船場3-12-9心斎橋プラザビル東館 TEL.06(252)8731
大阪サービスセンター	〒565 吹田市新芦屋下1-16(ヤマハ㈱千里丘センター内) TEL.(06)877-5262
神戸サービスセンター	〒650 神戸市中央区元町2-7-3(ヤマハ㈱神戸店内) TEL.(078)321-1195
京都サービスセンター	〒600 京都市下京区七条通間之町東入材木町483(第2マスイビル3F) TEL.(075)361-6470
四国サービスセンター	〒760 高松市丸亀町8-7(ヤマハ㈱高松店内) TEL.(0878)22-3045
広島支店	〒730 広島市中区紙屋町1-1-18 TEL.082(244)3748
広島サービスセンター	〒731-01 広島市安佐南区西原2-27-39 TEL.(082)874-3787
九州支店	〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4 TEL.092(472)2152
九州サービスセンター	〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4 TEL.(092)472-2134
本社ピアノ営業部	〒430 浜松市中沢町10-1 TEL.0534(60)2181

ヤマハ株式会社